

公益財団法人応用科学研究所 令和 8 年度定時評議員会議事録

1. 開催日時 令和 8 年 6 月 16 日（火）14：00～15：00

2. 開催場所 公益財団法人応用科学研究所森記念研究棟 2F 会議室
京都市左京区田中大堰町 49 番地

3. 評議員現在数及び定足数

現在数 10 名、 議案の定足数 6 名（通常議題）

4. 出席評議員数 6 名

（評議員出席） 鴻野 雄一郎、仲田 摩智、仁田 旦三、平尾 一之、久田 直志、吉田 英生

（監事出席） 西 亨、村上 博保

（理事陪席） 大野 正夫、大原 久典、北野 正雄、久保 愛三、成宮 明、三阪 佳孝、
山路 伊和夫

（議案説明及び報告） 久保理事長、成宮常務理事、大原常務理事（梅野運営企画室長 収支報告者）

5. 議題 第 1 号議案『令和 7 年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録の承認』を求める件

報告事項 1. 理事会報告

2. プラズマ窒化炉の新電源開発状況

6. 開会・議長選出並びに議事録署名人選出

定刻 14：00 に出席予定者全員が出席。久保理事長の挨拶の後、事務局から本日の出席者について、評議員 6 名の出席と監事 2 名の出席、及び理事 7 名の陪席で、会議は成立していることが報告された。続いて、定款第 25 条の規定に基づき出席評議員の互選により、吉田評議員が議長に選出された。

評議員会議長が開会を宣し、まず定款第 30 条に、議事録には議長と、出席した評議員のうちから選出された 2 名が記名押印することとなっている旨の説明があった。議長から平尾評議員、並びに仲田評議員が指名され、両人もそれを承諾し、議長及びこの両評議員が議事録署名人となった。引き続き議案の審議に入った。

7. 議事の経過の概要及びその結果

第 1 号議案 『令和 7 年度事業報告書及び附属明細書、収支決算書及び附属明細書並びに財産目録の承認』を求める件

議長の求めにより、まず事務局から詳細の説明が行われた。引き続き、議長から、去る 5 月 15

日に公益財団法人応用科学研究所応接室において行われた監事監査の結果について、監事の報告が求められ、西監事から業務監査の結果について、監事監査規程に基づき、事業報告書及び理事の職務の執行について問題がなかったことが報告された。また村上監事からは、監事監査規程に基づき、会計帳簿並びに関係書類の閲覧を行い、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨、報告された。

これらの報告に基づき、第1号議案について議長から各評議員の意見が徴された後、全員異議なく、本件は可決承認された。

8. 報告事項

議長はこれまでに開催された理事会について事務局に報告を求めた。

事務局から、令和7年6月16日の定時評議員会終了以降、理事会は、本年3月18日の第3回理事会、及び6月1日の令和8年度第1回理事会の計2回開催された。第3回理事会については、その議事録がホームページにて公開されており内容が周知されているので、今回は本年6月1日開催の令和8年度第1回理事会議事録のみを報告資料として添付し、説明は省略するとの報告があった。

続いて、もう一つの報告事項として、大原常務理事からプラズマ窒化炉の電源開発の状況についての報告がなされた。

以上をもって、全ての議案の審議は終了したので、議長は閉会を宣し、解散した。

上記の決議を明確にするため、定款第30条第1項及び第2項により、評議員会議長、及び指名された2名の評議員が議事録署名人としてこれに署名、押印した。

令和8年6月16日

公益財団法人応用科学研究所令和8年度定時評議員会

議事録署名人

評議員会議長 吉田 英生

評議員 平尾 一之

評議員 仲田 摩智